

挿 図 目 次

fig. 1	平城京朱雀大路発掘調査位置図	1
fig. 2	発掘区周辺の地形と条坊	2
fig. 3	発掘区周辺航空写真	3
fig. 4	遺構平面図 (1/150)	5
fig. 5	発掘区土層断面図 (1/80)	5
fig. 6	発掘区全景 (東から)	6
fig. 7	東トレンチ (西から)	6
fig. 8	西トレンチ (東から)	7
fig. 9	朱雀大路東側溝 (北から)	7
fig. 10	朱雀大路東側溝ほか出土土器	9
fig. 11	包含層出土土器 (土師器)	11
fig. 12	包含層出土土器 (須恵器)	12
fig. 13	包含層出土土器 (須恵器)	13
fig. 14	包含層出土須恵器	15
fig. 15	軒瓦拓本	17
fig. 16	軒瓦写真	17
fig. 17	朱雀大路・下ツ道発掘調査位置と国土座標	20
fig. 18	朱雀大路航空写真と条坊	23
fig. 19	羅城門周辺発掘区配置図	25
fig. 20	羅城門付近条坊復原図	25
fig. 21	羅城門北西部朱雀大路西側溝・築垣 (西から)	26
fig. 22	羅城門西方朱雀大路西側溝 (南から)	26
fig. 23	朱雀大路横断面模式図	29
fig. 24	昭和48年調査朱雀大路東側溝 (東から)	29
fig. 25	昭和48年調査朱雀大路西側溝 (南から)	29
fig. 26	朱雀大路中軸線方位概念図	30
fig. 27	平城宮第130・143次調査遺構図	31
fig. 28	平城宮跡第130次調査 (東から)	32
fig. 29	同 上 (北から)	32
fig. 30	平城宮跡第143次調査 (北から)	32

目 次

I 調 査 概 要	1
II 遺 構	4
III 遺 物	8
1 土 器 類	8
2 瓦 類	16
IV ま と め	19
付 編	23
1 朱雀大路発掘調査報告（抄）	
2 平城京大路関係史料	

例 言

- 1 本書は、平城京朱雀大路東側溝推定地で実施した発掘調査報告書である。
- 2 調査地は、奈良市二条大路南3丁目1-1 福丸雄三氏、同193-1 石田 澁氏所有の水田耕作地である。
- 3 調査の目的は、奈良市による朱雀大路復原整備計画に基く朱雀大路確認調査である。
- 4 調査は、奈良市教育委員会が実施し、奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部が平城宮跡第141-25次調査として行なった。
- 5 調査期間は、昭和57年11月8日から同16日までの9日間、調査面積は約140㎡である。
- 6 本書の作成は、岡田英男平城宮跡発掘調査部長の指導を得て、I・II・IV宮本長二郎、III-1千田剛道、III-2、付編1岩永省三、付編2今泉隆雄が執筆した。編集は主として宮本が担当し、石川千恵子が協力した。
- 7 遺構・遺物の写真は八幡扶桑、佃 幹雄が担当し、池田千賀枝が協力した。
- 8 朱雀大路に関するこれまでの発掘調査の概要と、朱雀大路を中心とした大路関係文献史料についての抄録を付編として採録した。